



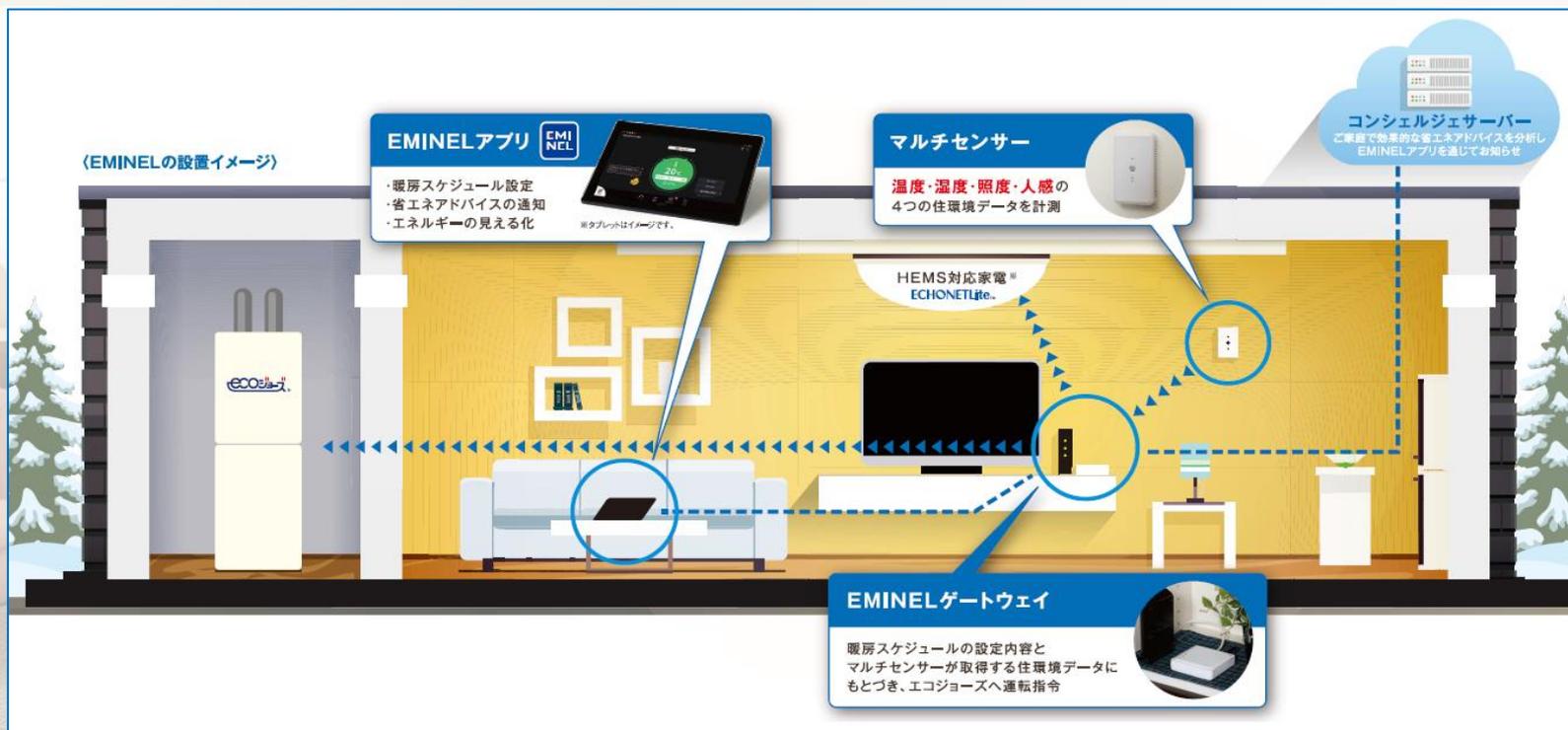
お客さまとともに環境価値を創出する  
「北ガスエコライフメンバーズ」について  
～北ガスが提供する新たなCO<sub>2</sub>買い取りサービス～

2023年10月12日  
北海道ガス株式会社

# 北ガス独自開発のエネルギー管理システム「EMINEL」

## EMINEL (2018年10月サービス開始)

- 暖房利用に着目した北ガス独自開発のエネルギー管理システム
  - マルチセンサーで取得した住環境データに基づき、エネルギー利用を最適制御
  - アプリを通じてご家庭ごとに最適な省エネアドバイスを提供
- お客さまとの双方向コミュニケーションを通じて、快適便利な暮らしを実現



# 「EMINEL」の省エネ生活サポート

エネルギーの  
見える化

省エネ  
アドバイス

EMI  
NCL

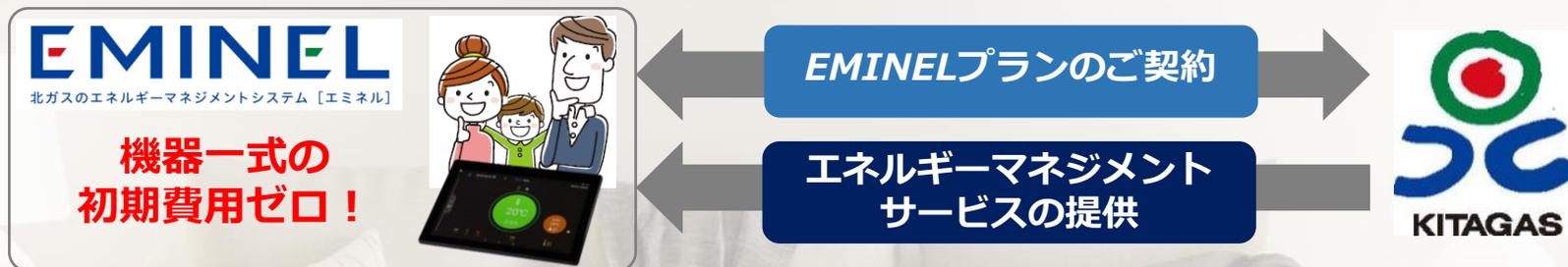
お客さまと北ガスによる  
コミュニケーションを通じて  
「快適で、もっと省エネな暮らし」  
を実現

CO<sub>2</sub>  
買取サービス

省エネ効果

# 「EMINEL」は初期費用負担無し

- 「ガス・電気+EMINELサービス」を“一体化”した、シンプルで分かりやすい専用料金メニュー。
- EMINEL機器をイニシャルレスで、ご利用可能！



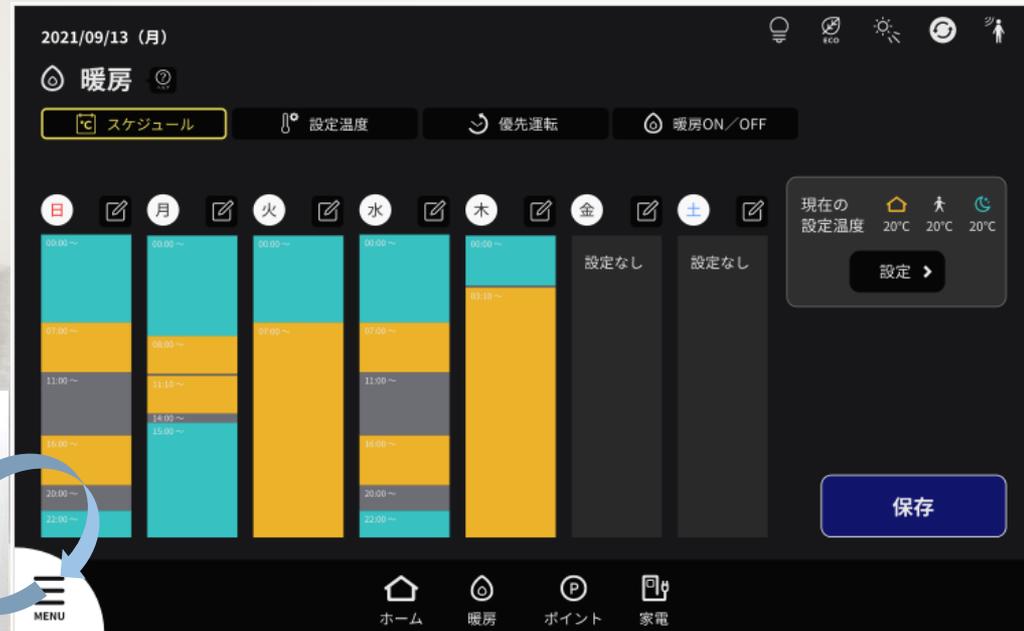
専用料金メニュー(ガス・電気・EMINELサービス一体のEMINELプラン)



# 「EMINEL」のある暮らし

## 暖房自動運転

冬期間は就寝時・外出時の  
暖房操作に手間がかかる



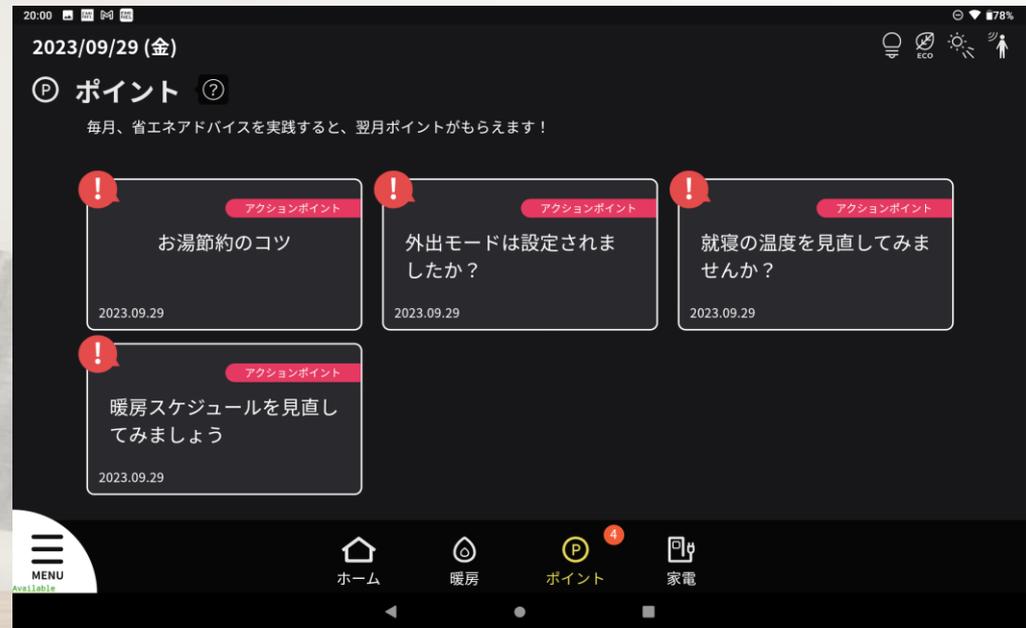
「室温」と「スケジュール」の設定で  
暖房の自動運転が可能

# 「EMINEL」のある暮らし

## 省エネアドバイス



光熱費を抑えたくて  
おトクに生活したい



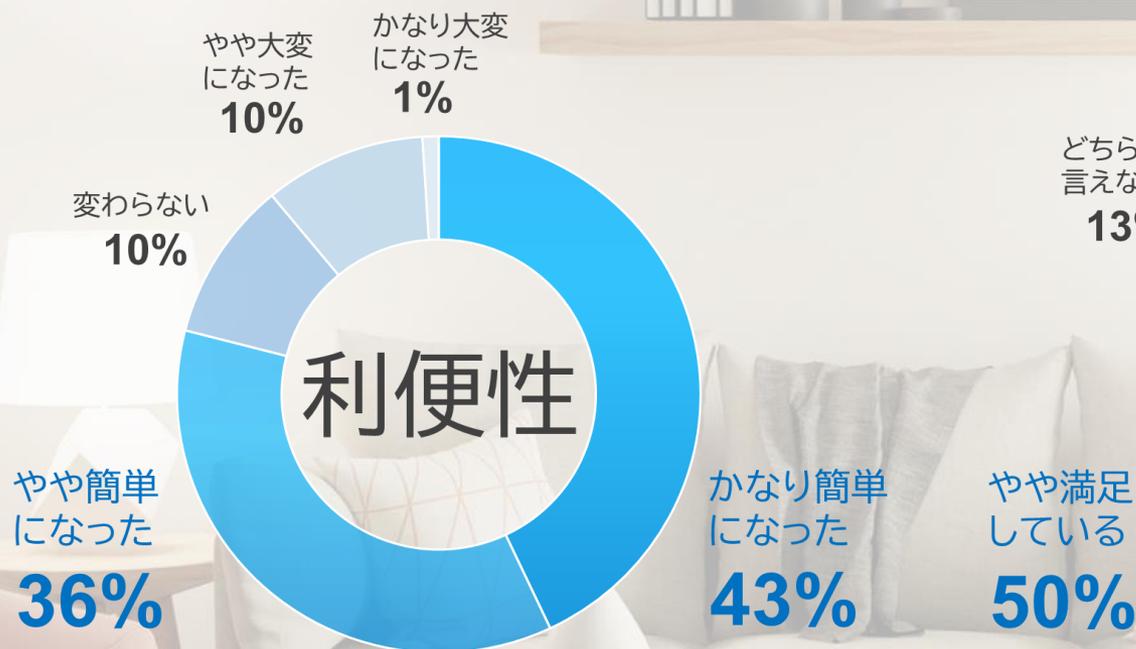
年間獲得省エネポイント

① **1,000**

最適な省エネアドバイスを提供  
実践されたお客さまには  
北ガスポイントを還元

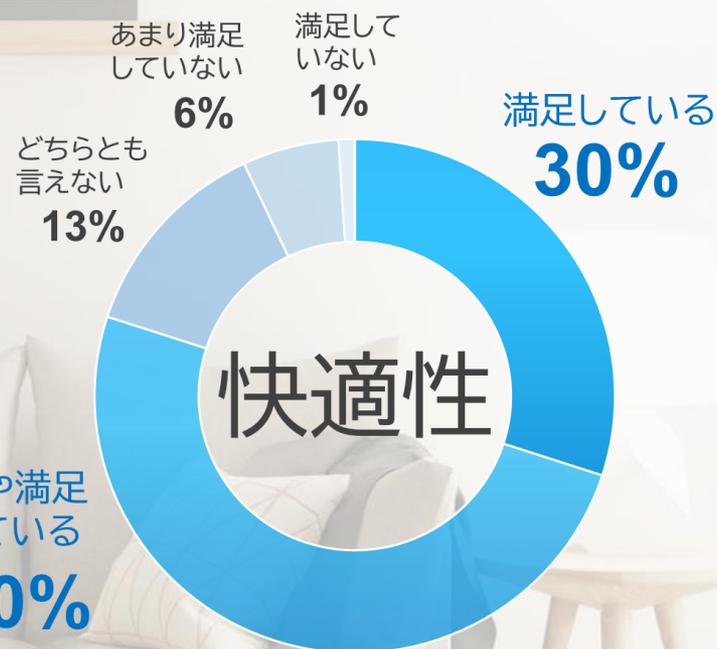
# 「EMINEL」をお使いのお客さまの声

Q.以前お住まいだった住宅と比べ、  
室温管理は簡単になりましたか？



寝る前や寒い時などバルブを手動で開けたり閉めたりするのが大変でしたが、アプリで簡単に調節できて便利です。  
30代女性(札幌市在住)

Q.ご自宅で暖房を使っているときの  
室温環境はいかがですか？



朝起きたら部屋を暖めて、夜仕事から帰ってきた時にも暖める、という作業がなくなり、快適に過ごせています。  
40代男性(札幌市在住)

# お客さまとともに環境価値を創出する 「北ガスエコライフメンバーズ」

省エネ機器(エコジョーズ、コレモ)をご利用いただくことで生まれたCO<sub>2</sub>排出削減量を「J-クレジット制度」(\*)を活用して価値化し、より多くのお客さまに環境への貢献をご実感いただく

- EMINELを介してエネルギー使用量を計測し、北ガスがCO<sub>2</sub>削減価値を取りまとめ、「J-クレジット」を創出
- 「J-クレジット」のプロジェクト期間である8年間、毎年創出されたCO<sub>2</sub>排出削減価値相当分を、北ガスポイントでお客さまに還元

※省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO<sub>2</sub>等の排出削減量や、適切な森林管理によるCO<sub>2</sub>等の吸収量をクレジットとして国が認証する制度。本制度により創出されたクレジットは、経団連カーボンニュートラル行動計画の目標達成やカーボン・オフセットなどに活用可能。



# 「北ガスエコライフメンバーズ」サービス詳細

対象となるお客さま  
(入会条件)

- ①エコジョーズやコレモを設置し、「EMINEL」をご利用いただくこと
  - ②北ガス会員制Webサービス「TagTag」にご入会いただくこと
  - ③「北ガスエコライフメンバーズ」にご入会いただくこと
- ※入会対象の方には別途ご案内いたします

CO<sub>2</sub>排出削減量の  
算出方法

EMINELでエネルギー使用量データを取得し、CO<sub>2</sub>排出削減量を算出

お客さまへの  
お知らせ方法

省エネ・CO<sub>2</sub>削減効果と獲得ポイントをEMINELアプリを通じてお知らせ(1回/年)

ポイント付与期間

2031年まで

還元ポイント

| お客さまパターン                          | EMINEL<br>+エコジョーズ | EMINEL<br>+エコジョーズ・コレモ |
|-----------------------------------|-------------------|-----------------------|
| 新築のお客さま                           | 500pt             | 1,000pt               |
| 他燃料から天然ガスへ<br>切り替えるお客さま           | 500pt             | 1,000pt               |
| 既存のガス設備に<br>コレモを後付けするお客さま         | -                 | 500pt                 |
| エコジョーズもしくはコレモを交換<br>(リプレース)するお客さま | 対象外               | 対象外                   |

# EMINELのお客さまへの還元ポイント

## 北ガスポイント獲得イメージ(年間)

最大5,200pt/年

4,000pt/年  
オトク!

1,200pt/年



ガス・電気をご利用のお客さま

EMINELをご利用のお客さま

今回対象

北ガスポイントは  
提携ポイントや商品へ交換可能

(交換商品の一例)



北ガスグルメチケット  
(500円・1,000円)

北ガスグルメパートナーにご登録いただいた道内の飲食店をご利用できる電子クーポン



ペコママネー  
(100pt~)



WAON POINT  
(100pt~)

# 「エネルギーと環境の最適化による快適な社会の創造」 に向けた北ガスのおゆみ



CO<sub>2</sub>排出削減貢献量\*  
**140**万トン

**2030**

- 「EMINEL」10万件達成
- ガスマイホーム発電5万件達成

エネルギーと環境の最適化による  
快適な社会の創造

\*北ガスグループおよびお客さまにおける2030年断面のCO<sub>2</sub>排出削減貢献量(2013年比)

# (参考)2050年を見据えた2030年までの取り組み

## 1 総合エネルギーサービス事業の進化による分散型社会の形成

- ・天然ガス普及の最大化と徹底的な省エネの訴求
- ・「ガスマイホーム発電 + エネルギーマネジメントシステム (EMS)」の標準化
- ・都心部再開発における分散型EMSの導入促進
- ・デジタル活用によるお客さまサービスの強化



ガスマイホーム発電「コレモ」



札幌市北4東6周辺地区における地域エネルギーマネジメントシステム

## 2 カーボンニュートラルへの挑戦

- ・省エネの定量化と価値化
- ・カーボンニュートラルエネルギーの提供
- ・低・脱炭素に資する次世代技術への挑戦
- ・再エネ電源開発と地域の低・脱炭素化



稚内風力発電所



上士幌町におけるエネルギー地産地消型エネルギーモデル

## 3 デジタル技術の活用による事業構造変革

- ・業務プロセスの見直しと事業コストの徹底的な削減
- ・環境変化を踏まえた地域に適した事業インフラの構築
- ・高度な専門性を有する人材・組織への変革



EMINEL



ガススマートメーター

## 次世代プラットフォームを活用した事業構造変革

- ・あらゆる情報を高度に連携、需要と供給を最適化
- ・業務プロセスを抜本的に変革し、高付加価値型の強固な事業基盤を構築



# (参考)北ガスグループ経営計画「Challenge 2030」

## 2050年以降のカーボンニュートラルを展望しつつ、2030年を中間点と位置づけた経営計画「Challenge2030」の達成に向けて、北ガスグループの総力を結集して挑戦していく

Challenge

1

省エネを基盤としてあらゆる手段、可能性を探りながら、脱炭素社会への備えを進めていきます

Challenge

3

地域資源の活用に北ガスグループの総力をあげて取り組み、全道への展開と新たな事業の可能性を追求していきます

Challenge

5

次代を担う人材として実践的で高度な専門家集団等、北ガスグループ全体での人材育成を推進していきます

Challenge

2

情報プラットフォームの構築により省エネの定量化と価値化を図り、量の拡大に依存しない価値創造型の事業基盤を構築していきます

Challenge

4

非効率・不合理なものを排除し、DXを最大限活用、機能させ、業務改革を遂行していきます  
※北ガスグループ内全業務のペーパーレス化を達成（2023年12月末まで）

Challenge

6

社会の急激な変化や災害等に迅速・柔軟に対応できるよう、DXの活用により意思決定の迅速化を図っていきます

総合エネルギーサービス事業の推進による機能的で効果的な省エネと2030年以降の早期にCO<sub>2</sub>ピークアウトを目指しあらゆる手段、可能性を探り、備えを進めていく

